

令和6年度グローバルSDにおける海外派遣支援

本学の職員向けに実施されたグローバルSD研修に参加いたしました。研修内容は、3カ月に渡るオンラインでのネイティブ講師による英語研修と令和6年8月に韓国（釜山・ソウル）で開催された日本学生支援機構主催の「日本留学フェア」へ参加いたしました。

英語研修では、留学説明会で富山大学の留学制度について説明を行うテーマで実践的な演習を行い、韓国での日本留学フェアでは、英語研修の成果を活かして留学希望者に対し、本学で学べる分野、入試制度、富山大学の魅力等について説明を行いました。富山大学基金からの多大なご支援により、このような貴重な機会をいただきましたことに深くお礼を申し上げます。

日本留学フェアでは海外の日本留学希望者と直接対話することで、彼らが日本留学に期待することや関心を持つ分野について知見を深めることができました。

また、富山大学が海外からの留学生にとって魅力的な大学となるには、大学全体でグローバル化に取り組むことが必須だということを強く実感する機会となりました。

近年、日本の大学では、海外から優秀な研究者や学生を積極的に招致する取組が加速しており、富山大学でも修士・博士課程を中心に、英語で学位を取得できるプログラムが拡大しています。その結果、高いレベルの日本語を習得していない研究者・学生が増加しており、事務職員にも英語での対応が求められる機会が増えていると実感しています。研修で得た経験を活かし、今後も富山大学のグローバル化推進に貢献できるよう、さらに努力してまいります。引き続き、ご支援の程よろしく申し上げます。

(研究振興課M.T)



富山大学基金事業による富山大学グローバルSD研修の研修生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。私たちは、令和6年9月タイ・バンコクで開催された日本留学フェア（主催：独立行政法人日本学生支援機構）に参加し、日本への留学希望者に対し富山大学の広報活動を行いました。教務事務として日頃から留学生の対応をしたりカリキュラム関係業務や入試業務に携わり、これまで培った学務系知識・業務経験を大いに活かして留学フェア来場者の対応ができました。タイの大学生や高校生と直接対話することで、彼らの留学目的や傾向について情報収集ができたと同時に、富山大学が留学希望者に選ばれるための課題が見えました。

また、今回の研修ではチュラロンコン大学訪問、特別シンポジウムへの参加やチュラロンコン王記念病院の施設視察など、普段の業務では得られない経験をさせていただきました。大学の国際化を推進するにあたって、協定校の担当者と信頼関係を築き、連絡を密に取り合うことが重要であると感じました。そのため、英語スキルの修得はもちろんコミュニケーション能力を高めることも必要だと考えます。

今回の研修での学びをこれからの業務で実践し、富山大学の国際化に貢献できるようより一層精進してまいります。

(芸術系総務・学務課K.O, 人社系学務課N.S)

●寄附者様ご芳名一覧(令和6年10月～令和7年3月)

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

【個人】(50音順にて記載)

赤尾 千波 石浦 宏尚 高木 繁雄 竹村 樹里 谷口 祐樹 戸田 英樹 中田 由紀子 長津 輝彦 中辻 裕司
萩原 新之介 水野 真理子 森山 健三 山本 由美 吉田 勝一

(ほか公表辞退 15名)

【企業・法人等】

株式会社提案室 富山大学生生活協同組合 北酸株式会社 丸文通商株式会社 一般財団法人立仁会 立峰会
(ほか公表辞退 1社)

●令和6年度学部1年次生短期海外派遣プログラム支援事業

富山大学では、教育における戦略の1つとしてグローバル人材の養成を掲げています。「学部1年次学生の短期海外英語研修」は、教養教育院で修得した語学力により、短期海外英語研修において高度な知識や諸外国の習慣を身につけさせ、広い国際的視野をもって学部専門教育における学修につなぐことを目的で実施しています。令和7年2・3月に、2週間から4週間の短期海外派遣プログラムを実施し、参加費の一部を富山大学基金から支援しました。研修先は、ニュージーランド オークランド大学（12名）、マレーシア トウンク アブドゥル ラーマン大学（25名）、台湾 開南大学で（23名）、1年生60名が研修に参加しました。

令和7年4月16日に帰国報告会が開催され、プログラム参加学生のうち4名が発表し、それぞれニュージーランド、マレーシア、台湾での研修内容、グループワークでの意見交換・発表、ホストファミリーや学生サポーターの人の温かさや優しさ、キャンパス周辺や町の雰囲気などの感想を述べました。また、質疑応答では、受けられる奨学金、留学先の英語の訛り、語学力の向上・維持について質問があり新1年生の関心の高さがうかがえました。また、令和7年度研修では、オーストラリア アデレード大学（医学部・薬学部生に特化）が追加される予定で、募集定員も10名増の定員70名となる予定です。



●能登半島地震等への支援を受けた被災学生からの感謝の声

・この支援事業にご寄附頂き、ありがとうございます。震災で自宅の修復もあった中、このように支援して下さったことで、家族も私も安心して暮らすことができました。

・事業へのご寄附ありがとうございました。頂いた寄附金は家の修理費や私個人の生活費等に充てさせていただきました。頂いた寄附金は大切に使用し、今後とも勉学に励んでまいります。

・今回の大きな災害を初めて経験し、今後のことを考えるうえで多くの不安を抱えていました。しかし、災害対応支援金給付事業の存在を知り、支援して下さる皆様がいることを実感することができました。おかげで、心が少し軽くなりました。本当にありがとうございました。

●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和6年10月～令和7年3月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	24件	8,217,586円
うちリサイクル募金	3件	1,152円
修学支援基金	22件	1,268,000円
研究等支援基金	8件	290,000円
合計	54件	9,775,586円

●富山大学、メルマガはじめました！



毎月、富山大学の最新情報をお届けします。

●令和6年度富山大学基金等を活用した事業一覧

皆様方からご寄附いただいた基金により、令和6年度事業において以下の支援事業を実施いたしました。

1. 海外留学・語学研修等支援プログラム

28日以上、1年以内の海外語学研修や留学を希望し、推薦された3名の学生に対し、総額200万円を支援しました。

2. 学部1年次生短期海外派遣プログラム支援事業

2週間～4週間の本プログラムに参加した60名の学生に総額600万円を支援しました。

3. 夏季オンライン英語研修プログラム事業

海外留学、海外研修等を見据え、海外での学修に必要な高度な英語能力の習得を希望する学生14名に対して総額28万円を支援しました。

4. 海外ダブルディグリー・プログラム派遣支援事業

派遣先大学での授業科目履修及び研究活動を行う学生1名に対し、総額50万円を支援しました。

5. グローバルSDにおける海外派遣支援

大学の国際化推進に資する能力獲得のため、本学若手事務職員3名に総額100万円を支援しました。

6. 富山大学学生表彰規則による成績優秀者表彰事業

成績優秀者（学部生18名、大学院生18名に対し、総額194万円分の楯と目録を贈呈しました。

7. 富山大学学生に対する災害対応支援金給付事業

令和6年度の能登半島地震や豪雨災害に被災した学生126名に対し、総額756万円を支援しました。

●「芸術文化学部基金」を新設！

令和7年4月から、富山大学芸術文化学部の基金を設置しました。これで富山大学基金は8種類となります。詳しくはWebページをご覧ください。

- 富山大学基金(一般)
- 修学支援基金
- 研究等支援基金
- 課外活動支援基金
- 工学部基金
- 経済学部基金
- 医学部基金
- 芸術文化学部基金

お問い合わせ先：富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6063

E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp URL : <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp>

